株式会社アイケーシー / 因島機械株式会社

広島県尾道市

生産性向上　需要獲得　担い手確保　ものづくり　サービス

ポイント 「廃プラスチックの燃料利用ソリューション」の提案で東南アジア市場に参入

○ジェトロの支援事業を活用し、インドネシアやフィリピンなど東南アジアの市場へ進出
○環境機器のパッケージ提案により、「廃プラスチックの燃料利用ソリューション」を提供
○強いリーダーシップとグローバルな視点で海外市場を開拓している

企業基本情報

所在地	広島県尾道市因島重井町 4694 番地
電話 /FAX	0845-24-2345/0845-24-2346
URL	http://www.innoshimakikai.co.jp/
代表者	代表取締役社長 村上　浩行
設立	1971 年
資本金	5,000 万円
従業員数	20 人

会社概要

廃棄物処理用の圧縮梱包機、破砕機等の環境機器の開発・製造・販売・メンテナンスを手掛ける広島県尾道市・因島のメーカー。破砕機や圧縮・梱包機などを組み合わせた「環境エンジニアリング」製品のパッケージ提案を強みとしている。インドネシアを中心とする東南アジアにおいて、廃プラスチックの燃料利用ソリューションによる市場開拓を目指す。

会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

ジェトロの支援事業を活用し、東南アジア市場へ進出

国内市場が飽和状態にあることから、東南アジア市場への進出を目指すことにした。環境産業のクラスター形成を目指す広島県と、環境問題解決に向けた新技術を求めるインドネシアの間で展開されているジェトロの「地域間交流支援（RIT）事業」を活用し、市場調査を進めた。また、ジェトロの「新輸出大国コンソーシアム事業」により専門家による支援を受け、進出における戦略策定を行った。2017 年、フィリピンで同社製品が導入されたほか、現在インドネシアでも商談が進められている。

インドネシア政府関係者へのプレゼンテーションを行う社長

廃プラスチックの燃料利用ソリューションを提供

廃プラスチックを燃焼効率の良いサイズに破砕し、「6 面コンパックス」と呼ばれる機械で圧縮し、6 面をラップ包装する。これにより廃棄物の減容、運搬の効率化が可能となる。こうした環境機器をパッケージとし、「廃プラスチックの燃料利用ソリューション」として提案できることが同社の強みであり、国内での納入実績を重ねてきた。競合相手となる中国メーカーなどは単品売りが中心であるため、「トータル受注」できる強みを生かし、東南アジア市場への参入を目指す。

6 面コンパックス

グローバルな視点で、海外市場の開拓に邁進

現社長は、創業者である村上徳明会長から事業を引き継ぎし、2017 年に社長に就任。会長に「会社を成長させる思いを伝えて入社した」と振り返る現社長。強いリーダーシップで会社を引っ張るとともに、海外での市場調査を積極的に進めるなどグローバルな視点を持つ。経営の傍ら休日を使って大学院にも通い詰め修了した。好きな言葉は、ダーウィンの「生き延びるのは変化に適応した者」。

インドネシアの最終処分場を視察